

令和7年国勢調査第3次試験調査 実施状況等報告書

目次

I	調査の概要.....	1
II	調査票の集計結果.....	7
	第1 調査票の回収状況	7
	第2 オンライン回答の状況	10
	第3 調査事項別調査票の記入状況	13
III	民間事業者による実査事務サポートの実施状況.....	14
	第1 郵送提出された調査票に係る受付・整理及び提出状況の把握	14
	第2 コンタクトセンターにおける調査対象世帯からの照会対応	16
IV	都道府県及び市区における個別の事務処理の実施状況.....	18
V	付表.....	23

令和6年11月

総務省統計局統計調査部国勢統計課

I 調査の概要

第1 調査の目的

令和7年国勢調査実施計画の立案に当たり、これまでの試験調査結果を踏まえ、調査方法、調査事項、調査票の設計等についての最終的な検証を行うとともに、地方公共団体における同調査の実施事務に資することを目的とする。

第2 調査の地域

1 市区

都道府県庁所在市及び都道府県庁所在地以外の政令指定都市（東京都の特別区（1区）を含む）の52市区

2 調査区

上記1の区域に属する令和2年国勢調査調査区の中から、地域特性を考慮して選定した520調査区

※ 調査区は、総務省統計局が指定する地域特性に該当する調査区を市区が選定し、総務省統計局において他の統計調査の調査区との重複排除の調整を行った上で、総務省統計局長が決定

第3 調査の期日及び日程

- 1 調査の期日 令和6年6月19日（水）午前零時現在
- 2 調査の主要日程 別紙1参照

第4 調査の対象

調査の期日において、調査の地域内に常住する者

ただし、外国政府の外交使節団又は領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属並びにこれらの家族を除く。

第5 調査事項及び調査票

OCR（光学式文字読取）調査票を用いて、次の事項を調査した。（別紙2参照）

1 世帯員に関する事項（13項目）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ア 氏名 | ク 5年前の住居の所在地 |
| イ 男女の別 | ケ 就業状態 |
| ウ 出生の年月 | コ 従業上の地位 |
| エ 世帯主との続柄 | サ 所属の事業所の名称及び事業の種類 |
| オ 配偶の関係 | シ 仕事の種類 |
| カ 国籍 | ス 従業地又は通学地 |
| キ 現在の住居における居住期間 | |

2 世帯に関する事項（4項目）

ア 世帯の種類

ウ 住居の種類

イ 世帯員の数

エ 住宅の建て方

第6 調査の方法

1 調査の流れ

総務省－都道府県－市区－指導員－調査員（又は民間事業者（※））－世帯

※ 世帯が居住する住居・施設等の管理者で、調査員業務の委託を受けた事業者

2 調査の方法

調査は、以下の方法により実施した。

※ 郵送提出調査票の受付事務を民間事業者（以下「民間サポート事業者」という。）に委託した。

※ オンライン調査は、総務省が整備する国勢調査オンライン調査システムを利用して実施した。

調査方法

ア 調査員は、担当する調査区内を巡回し、当該調査区の範囲を確認の上で『調査区要図』を作成する。

イ 調査書類一式の配布期間（6月8日から6月18日まで）に、調査員は、担当する調査区内の全世帯を訪問し、調査票等の調査書類一式を配布する。調査書類一式の配布に当たっては、世帯と面接の上で調査の趣旨等を説明し、あわせて、世帯が必要とする調査票枚数と世帯主又は代表者の氏名を聴取し、『調査世帯一覧』に必要な事項を記入する。世帯が、インターホン越しの説明を希望する場合は、インターホン越しに、調査の依頼とともに世帯が必要とする調査票枚数を聴取し、調査書類一式を郵便受けなどに入れて配布する。あわせて、世帯主又は代表者の氏名を聴取し、『調査世帯一覧』に必要な事項を記入する。

不在世帯については、訪問日・訪問時間を変えて世帯に説明できる見込みがある場合は3回程度訪問することとするが、それでも世帯が不在の場合は、調査書類一式を郵便受けなどに入れて配布する。一方、地域特性や建て方などを考慮し、オートロックマンションや単身世帯など何度訪問しても説明が困難と見込まれる場合は、居住確認を行えた時点で、調査書類一式を郵便受けなどに入れて配布することも可能とする。

ウ 調査期日までの期間（6月8日から6月18日まで）は、世帯は、調査票による回答に先行して、国勢調査オンライン調査システムにアクセスし、オンライン回答することができる。また、6月19日以降は、国勢調査オンライン調査システムのほか、調査票を郵送により提出又は調査員へ提出する方法のいずれかを選択し、回答する。

エ 調査期日以後（6月19日から6月21日まで）、調査員は、全世帯に『調査への回答はお済みですか』を郵便受けに入れて配布する。

オ 7月5日以降、調査員は市区又は指導員から伝達された回答済世帯の情報により、

回答の済んでいない世帯（以下「調査票未提出世帯」という。）を特定する。

カ 未提出回収期間（7月5日から7月15日まで）に、調査員は、上記オで特定した調査票未提出世帯を複数回訪問し、面接の上で、調査票の提出状況を確認し、調査票未提出世帯から調査票を回収する。

キ 世帯と面接できないなど、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合、調査員は市区又は指導員に連絡の上、その指示に基づき、調査票未提出世帯に『調査票の提出のお願い』、調査票等を郵便受けなどに入れて配布した上で、近隣の世帯からの協力を得て、「氏名」、「男女の別」、「世帯の種類」、「世帯員の数」及び「住宅の建て方」の5項目を聴取するなどし、調査票及び『調査世帯一覧』への記入を行う（聞き取り調査）。

ク 調査員は、調査票等を整理の上、市区に提出する。

3 報告の方法

世帯主（世帯の代表者を含む。）又は世帯員が調査票に記入し、調査員の質問に答え、調査票を調査員又は市区町に提出することにより行う。

ただし、報告に当たり、国勢調査オンライン調査システムを利用することができる。

4 民間事業者による実査事務サポート

実査における地方公共団体の事務負担を軽減することを目的に、実査事務のうち、郵送提出された調査票に係る受付・整理及び提出状況の把握について民間事業者に委託して実施した。

第7 その他

第3次試験調査は、国勢調査令（昭和55年政令第98号）第15条第1項第6号及び第2項第8号に規定する「調査方法についての基礎調査」として実施した。

なお、調査の実施については、統計法に基づく一般統計調査として総務大臣の承認を得ている。

令和7年国勢調査第3次試験調査の主要日程

時期	世帯	調査員	指導員	市町村	都道府県
4月下旬				地方別事務打合せ会出席	地方別事務打合せ会出席
5月下旬～ 6月上旬		調査員事務打合せ会出席	指導員事務打合せ会出席 ・調査員事務打合せ会出席	指導員事務打合せ会開催 ・調査員事務打合せ会開催	指導員事務打合せ会出席 ・調査員事務打合せ会出席
6/5～ 6/7		・受持ち調査区の確認 ・『調査区要図』の作成			
6/8～ 6/18	調査書類の受取 オンライン回答開始	・調査書類の配布(『インターネット回答依頼書』、調査票、『郵送提出用封筒(黒字)』等) ・『調査世帯一覧』の作成			
6/19	調 査 期 日				
6/19～ 6/19～ 6/21	調査票の提出開始 (郵送又は調査員分)	調査票の回収(調査票提出世帯) 『調査への回答はお済みですか』の配布		(民間事業者による第3次試験調査に係る支援) ・『郵送提出用封筒』のQRコード読み取り、仕分け、梱包、市町村への発送 (～7月中旬)	
～6/26	当 初 回 収 期 限				
7/5～ 7/15	調査票の提出 (未提出世帯のみ)	・オンライン回答世帯及び郵送提出世帯の特定 ・『調査世帯一覧』への反映 ・未提出世帯からの調査票の回収 ・『調査票の提出のお願い』及び調査票等の配布 ・聞き取り調査 ・『調査世帯一覧』の補完(聞き取り)	オンライン回答世帯及び郵送提出世帯の特定並びに調査員への伝達		
～7/15	督 促 回 収 期 限				
7/16～ 7/19		・回収した調査票、『調査世帯一覧』等の検査 ・回収した調査票、『調査世帯一覧』等の市町村への提出		調査員からの調査書類受領	
7月中旬～ 下旬		調査員報告会出席	調査票等の検査 ・指導員報告会出席 ・調査員報告会出席	調査票等の審査 ・調査書類審査会開催 ・指導員報告会開催 ・調査員報告会開催	調査書類審査会出席 ・指導員報告会出席 ・調査員報告会出席
8月上旬				・市区事後報告会出席 ・調査書類の都道府県への提出	・市区事後報告会開催 ・調査書類の統計局への提出
8月下旬					都道府県事後報告会出席(統計局開催)

(別紙1)

秘 一般統計調査



令和7年国勢調査 調査票
第3次試験調査

令和6年6月19日

この調査は、統計法に基づき政府が実施する統計調査です。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

記入は必ず
黒の鉛筆 又は
シャープペンシルで
(ボールペン不可)

- 記入を間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。
○ 記入欄が○の場合は、当てはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
○ 数字を記入する場合は、わくの中に右つめで書いてください。

数字は右つめに たて線1本 すきまをあける とする
数字の記入例

	1	2	3	4
12 令和6年6月12日から18日までの1週間に仕事をしましたか 仕事とは 収入を伴う仕事をいい 自家営業（農業や店の仕事など） の手伝いや内職・パートタイム・ アルバイトも含めます 通学には 予備校・専門学校などに 通っている場合も含めます 幼稚園又は保育所などに通って いる場合はその他に記入してく ださい	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 <u>少しも仕事をしなかった人</u> 休んでいたを 13欄へ 仕事していたを 記入あり 家事 13欄へ 通学 13欄へ その他（幼児や高齢など） 記入あり	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 <u>少しも仕事をしなかった人</u> 休んでいたを 13欄へ 仕事していたを 記入あり 家事 13欄へ 通学 13欄へ その他（幼児や高齢など） 記入あり	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 <u>少しも仕事をしなかった人</u> 休んでいたを 13欄へ 仕事していたを 記入あり 家事 13欄へ 通学 13欄へ その他（幼児や高齢など） 記入あり	
13 従業地又は通学地 仕事も通学もしている人は 仕事を している場所について記入して ください 同じ市内の他の区に通勤・通学 している場合は <u>他の区・市町村</u> に記入してください 他の区・市町村の場合は 都道府県・市区町村名も 書いてください （東京都区部と政令指定都市） の場合は区名まで	自宅（住み込みを含む） 同じ区・市町村 他の区・市町村 通勤・通学の場所（を左づめで記入） 都道府県 市区町村	自宅（住み込みを含む） 同じ区・市町村 他の区・市町村 通勤・通学の場所（を左づめて記入） 都道府県 市区町村	自宅（住み込みを含む） 同じ区・市町村 他の区・市町村 通勤・通学の場所（を左づめて記入） 都道府県 市区町村	
14 勤めか 自営かの別 労働者派遣事業所の派遣社員 とは 労働者派遣法に基づいて 派遣されている人をいいます パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます 自営業主とは 個人で事業を経営 している人（農家などを含む）や 自由業の人をいいます	正規の職員・従業員 ○ 労働者派遣事業所の派遣社員 ○ パート・アルバイト・その他 ○ 会社などの役員 ○ 自営業主 [雇人あり ○ 雇人なし ○] 家族従業者 ○ 家庭内の賃仕事（内職） ○	正規の職員・従業員 ○ 労働者派遣事業所の派遣社員 ○ パート・アルバイト・その他 ○ 会社などの役員 ○ 自営業主 [雇人あり ○ 雇人なし ○] 家族従業者 ○ 家庭内の賃仕事（内職） ○	正規の職員・従業員 ○ 労働者派遣事業所の派遣社員 ○ パート・アルバイト・その他 ○ 会社などの役員 ○ 自営業主 [雇人あり ○ 雇人なし ○] 家族従業者 ○ 家庭内の賃仕事（内職） ○	
15 勤め先・業主などの名称及び事業の内容 仕事をしている事業所 （本社 支店 営業所 工場 商店など）の名称 を書いてください （官公庁は課名まで） その事業所で主に営まれて いる事業の内容をくわしく 書いてください 労働者派遣事業所の派遣 社員は 派遣先（実際に 仕事をしている事業所） について書いてください	勤め先・業主などの名称 事業の内容	勤め先・業主などの名称 事業の内容	勤め先・業主などの名称 事業の内容	
16 本人の仕事の内容 本人が実際にしている主な仕事 の内容をくわしく書いてください				

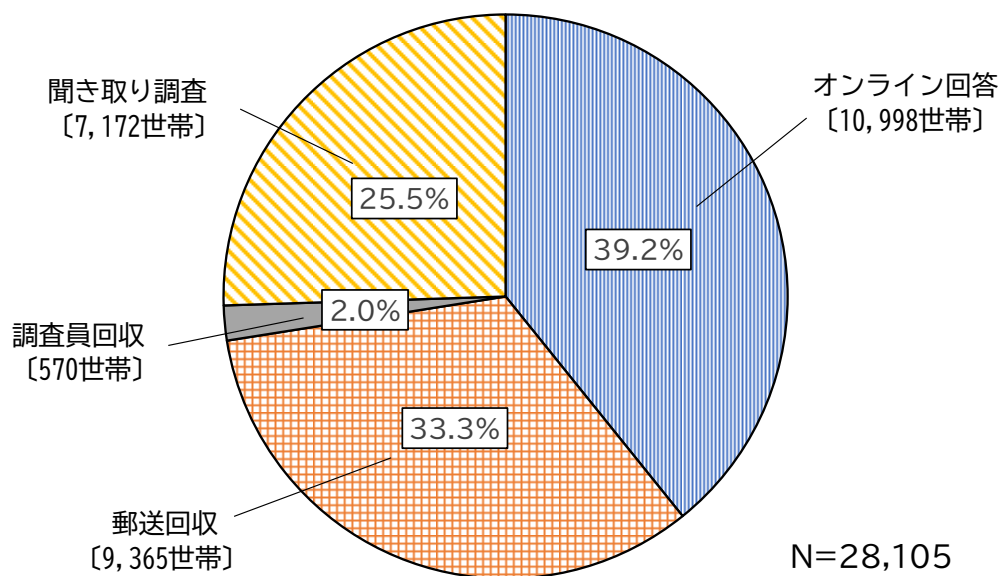
Ⅱ 調査票の集計結果

第1 調査票の回収状況

1 全体の回収状況

調査対象世帯は28,105世帯となっており、これを回収方法別にみると、オンライン回答が10,998世帯（調査対象世帯に占める割合39.2%）、郵送回収が9,365世帯（同33.3%）、調査員回収が570世帯（同2.0%）、聞き取り調査は7,172世帯（同25.5%）となっている。《図表1》

図表1 回収方法別世帯数及び割合



2 調査区の地域特性別の回収状況

地域特性別の回収状況についてみると、「オートロックマンションの多い地域」及び「その他の地域」では、オンライン回答の割合が高い一方、「一戸建の多い地域」では郵送回収の割合が高くなっている。《図表2》

図表2 地域特性、回収方法別世帯数及び割合

(世帯、%)

回収方法		総数	回収方法				聞き取り調査 1)
地域特性			回答世帯 合計	オンライン 回答	郵送回収	調査員回収	
(実数)	総数	28,105	20,933	10,998	9,365	570	7,172
	オートロックマンションの多い地域	8,374	6,709	3,917	2,699	93	1,665
	ワンルームマンションの多い地域	8,771	5,138	2,843	2,115	180	3,633
	一戸建の多い地域	8,132	6,965	3,189	3,571	205	1,167
	その他の地域	2,828	2,121	1,049	980	92	707
(構成比)	総数	100.0	74.5	39.2	33.3	2.0	25.5
	オートロックマンションの多い地域	100.0	80.1	46.8	32.2	1.1	19.9
	ワンルームマンションの多い地域	100.0	58.6	32.4	24.1	2.1	41.4
	一戸建の多い地域	100.0	85.6	39.2	43.9	2.5	14.4
	その他の地域	100.0	75.0	37.0	34.7	3.3	25.0

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

3 世帯人員別の回収状況

世帯人員別の回収状況についてみると、世帯人員が2人以上の世帯では回答世帯の割合が7割以上となっている一方、単身世帯では59.1%となっている。《図表3》

図表3 世帯人員、回収方法別世帯数及び割合

(世帯、%)

回収方法		総数	回収方法				聞き取り調査 1)
世帯人員			回答世帯 合計	オンライン 回答	郵送回収	調査員回収	
(実数)	総数	28,105	20,933	10,998	9,365	570	7,172
	単身世帯	11,936	7,063	3,365	3,394	304	4,873
	世帯人員2人	8,175	7,226	3,448	3,625	153	949
	世帯人員3人	4,170	3,565	2,079	1,424	62	605
	世帯人員4人	2,878	2,345	1,579	732	34	533
	世帯人員5人以上	946	734	527	190	17	212
(構成比)	総数	100.0	74.5	39.2	33.3	2.0	25.5
	単身世帯	100.0	59.1	28.2	28.4	2.5	40.9
	世帯人員2人	100.0	88.4	42.2	44.3	1.9	11.6
	世帯人員3人	100.0	85.5	49.9	34.1	1.5	14.5
	世帯人員4人	100.0	81.5	54.9	25.4	1.2	18.5
	世帯人員5人以上	100.0	77.6	55.7	20.1	1.8	22.4

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

4 世帯主の年齢階級別の回収状況

世帯主の年齢階級別に調査票の回収状況をみると、70歳未満ではオンライン回答の割合が高くなっている一方、70歳以上では郵送回収の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

また、20歳代の聞き取り調査の割合が高く、30歳以上では年齢層が上がるにつれて、聞き取り調査の割合が低くなる傾向にある。《図表4》

図表4 世帯人員、世帯主の年齢階級、回収方法別世帯数及び割合

(世帯、%)

回収方法		総数	回収方法別世帯数及び割合				聞き取り調査 1)
世帯主の年齢階級			回答世帯 合計	オンライン 回答	郵送回収	調査員回収	
(実数)	総数	28,105	20,933	10,998	9,365	570	7,172
	20歳未満	190	156	122	27	7	34
	20歳代	1,780	1,072	783	244	45	708
	30歳代	2,379	1,701	1,277	395	29	678
	40歳代	3,747	2,895	2,044	823	28	852
	50歳代	5,185	4,320	2,893	1,363	64	865
	60歳代	4,524	4,089	2,199	1,818	72	435
	70歳代	4,217	3,928	1,154	2,645	129	289
	80歳以上	2,817	2,530	526	1,827	177	287
	年齢不詳	3,266	242	0	223	19	3,024
	(別掲)60歳未満	13,281	10,144	7,119	2,852	173	3,137
	(構成比)	総数	100.0	74.5	39.2	33.3	2.0
20歳未満		100.0	82.1	64.2	14.2	3.7	17.9
20歳代		100.0	60.2	44.0	13.7	2.5	39.8
30歳代		100.0	71.5	53.7	16.6	1.2	28.5
40歳代		100.0	77.3	54.6	22.0	0.7	22.7
50歳代		100.0	83.3	55.8	26.3	1.2	16.7
60歳代		100.0	90.4	48.6	40.2	1.6	9.6
70歳代		100.0	93.1	27.4	62.6	3.1	6.9
80歳以上		100.0	89.8	18.7	64.8	6.3	10.2
年齢不詳		100.0	7.4	0.0	6.8	0.6	92.6
(別掲)60歳未満		100.0	76.4	53.6	21.5	1.3	23.6

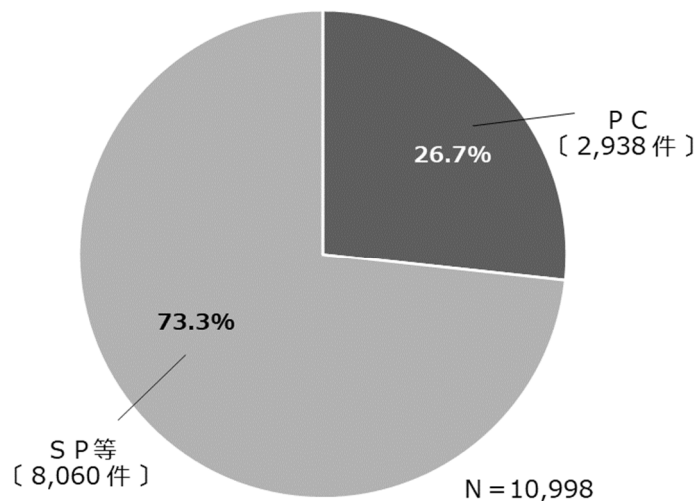
1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

第2 オンライン回答の状況

1 端末の種類別オンライン回答状況

オンライン回答の状況を端末の種類別にみると、オンライン回答があった10,998件のうち、PCが2,938件（オンライン回答世帯に占める割合26.7%）、スマートフォン及びタブレット（以下「SP等」という。）が8,060件（同73.3%）となっている。《図表5》

図表5 端末の種類別オンライン回答数及び割合

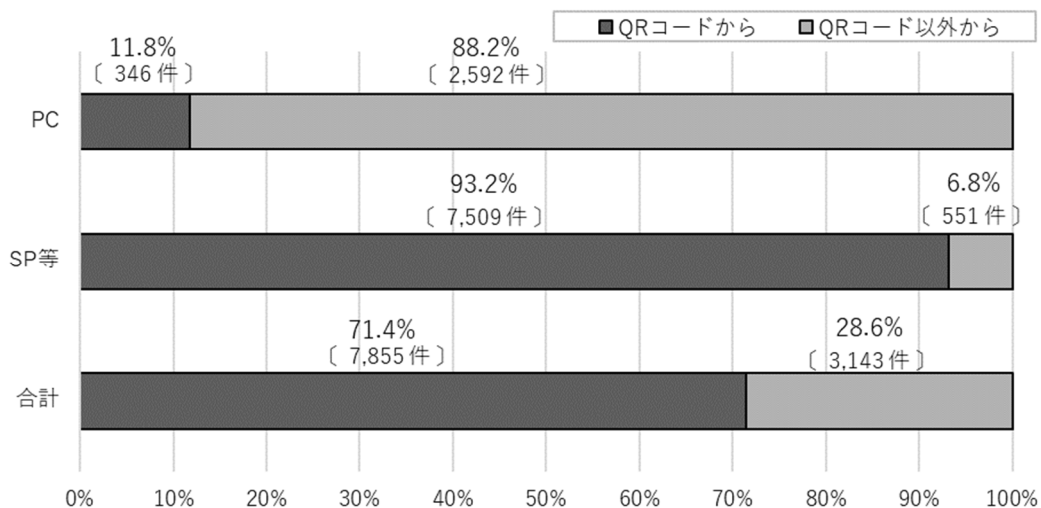


2 QRコードからのログイン状況

令和7年国勢調査における新機能として、『インターネット回答依頼書』に印字されたQRコードから回答用サイトにアクセスすると、ログインID及びアクセスキーが自動入力される仕組みを導入している。

オンライン回答があった10,998件のうち、QRコードを利用したログインは全体の71.4%を占めた。端末の種類別にみると、PCでは11.8%、SP等では93.2%となっている。《図表6》

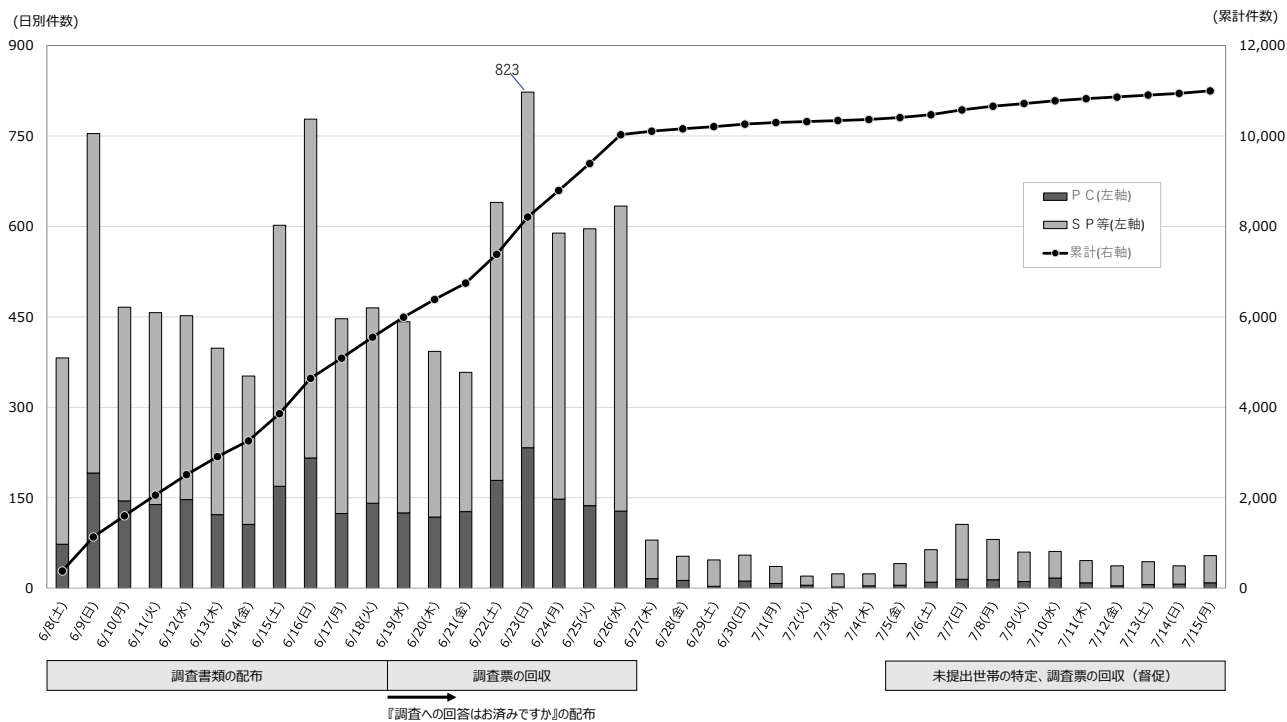
図表6 端末の種類別QRコードからのログイン状況



3 日別の回答状況

オンライン回答のあった件数を日別にみると、回答期間中の週末がピークで、1日当たりの回答件数は6月23日（日）の823件が最も多い（それぞれP C 233件、S P等590件）。《図表7》

図表7 回答日、端末の種類別オンライン回答数

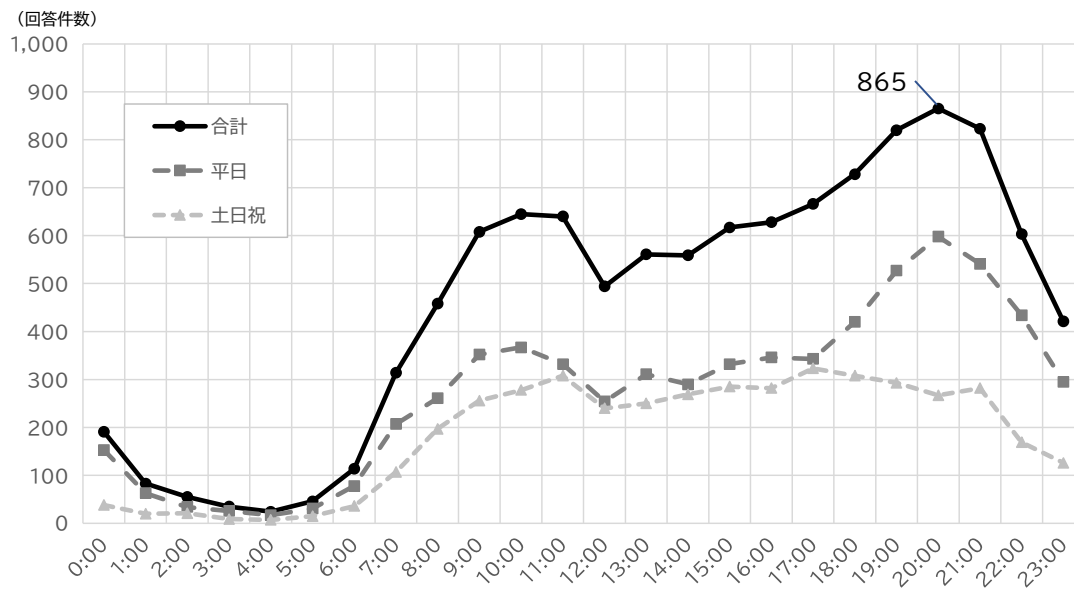


4 時間帯別の回答状況

オンライン回答のあった件数を回答時間帯別にみると、朝方（6時台）から11時台にかけて増加傾向にある。午後になると再度、回答件数は増加傾向となり、20時台でピークに達している。

また、平日及び土日祝別にみると、平日では19時～21時頃に回答が集中するのに対し、土日祝では比較的なだらかな推移となっている。《図表8》

図表8 時間帯別オンライン回答数



5 世帯主の年齢階級別の回答状況

オンライン回答のあった10,998世帯を世帯主の年齢階級別にみると、「50歳代」が2,893件で最も多く、次いで「60歳代」(2,199件)、「40歳代」(2,044件)となっている。

また、これを端末の種類別の割合でみると、SP等が「20歳未満」で95.9%、「20歳代」で91.7%、「30歳代」で89.2%など若年層での割合が高くなっている。《図表9》

図表9 世帯主の年齢階級、端末の種類別オンライン回答数及び割合

世帯主の年齢階級	(件、%)			(構成比)		
	総数	(実数)		総数	(構成比)	
		PC	SP等		PC	SP等
総数	10,998	2,938	8,060	100.0	26.7	73.3
20歳未満	122	5	117	100.0	4.1	95.9
20歳代	783	65	718	100.0	8.3	91.7
30歳代	1,277	138	1,139	100.0	10.8	89.2
40歳代	2,044	360	1,684	100.0	17.6	82.4
50歳代	2,893	735	2,158	100.0	25.4	74.6
60歳代	2,199	831	1,368	100.0	37.8	62.2
70歳代	1,154	573	581	100.0	49.7	50.3
80歳以上	526	231	295	100.0	43.9	56.1

第3 調査事項別調査票の記入状況

調査事項別に紙の調査票の記入状況をみると、記入不備のある割合は「本人の仕事の内容」が8.5%と最も高く、次いで「事業の内容」が8.0%、「勤め先・業主などの名称」が7.0%などとなっている。

調査員記入欄から世帯記入欄に移行した「世帯の種類」及び「住宅の建て方」の記入状況をみると、それぞれ記入不備の割合は0.3%、0.6%となっている。《図表10》

図表10 調査事項、回収方法別記入不備のある割合

(%)

調査事項		回収方法 記入不備の内容			合計			郵送回収			調査員回収		
		エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入
第1面	世帯の種類	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.2			
	世帯人員 1)	0.1	0.1	-	0.1	0.1	-	0.0	0.0	-			
	住居の種類	2.0	1.9	0.1	1.3	1.2	0.1	14.2	14.0	0.2			
	住宅の建て方	0.6	0.5	0.1	0.6	0.5	0.1	0.6	0.6	0.0			
	共同住宅の場合 階数 1)	0.3	0.3	-	0.3	0.3	-	0.0	0.0	-			
	男女の別	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.6	0.5	0.1			
	世帯主との続き柄	0.8	0.7	0.1	0.7	0.6	0.1	1.2	1.0	0.2			
	出生の年月 2)	2.1	-	-	2.0	-	-	2.7	-	-			
	配偶者の有無	3.2	3.2	0.0	2.9	2.8	0.0	9.6	9.6	0.0			
	国籍	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	1.3	1.3	0.0			
	外国の場合 国名 1)	2.1	2.1	-	2.3	2.3	-	0.0	0.0	-			
	現在の住居における居住期間	2.4	2.2	0.2	1.6	1.4	0.2	15.3	14.9	0.4			
	5年前の住居の所在地	1.4	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	2.7	2.7	0.0			
	他の区・市町村の場合 市区町村名 1)	1.0	1.0	-	0.8	0.8	-	2.8	2.8	-			
第2面	就業状態	3.3	2.8	0.5	2.6	2.0	0.6	15.3	15.0	0.4			
	従業地又は通学地	3.9	3.6	0.3	4.0	3.7	0.3	3.4	3.0	0.4			
	他の区・市町村の場合 市区町村名 1)	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	1.1	1.1	-			
	従業上の地位	4.6	4.3	0.3	4.4	4.1	0.3	8.5	8.5	0.0			
	勤め先・業主などの名称 1)	7.0	7.0	-	6.7	6.7	-	13.6	13.6	-			
	事業の内容 1)	8.0	8.0	-	7.7	7.7	-	14.4	14.4	-			
	本人の仕事の内容 1)	8.5	8.5	-	8.3	8.3	-	15.4	15.4	-			

1) 記入の有無

2) 元号・西暦・年月が規定値か

Ⅲ 民間事業者による実査事務サポートの実施状況

第1 郵送提出された調査票に係る受付・整理及び提出状況の把握

1 業務の概要

(1) 業務内容

世帯から提出された『郵送提出用封筒』について、QRコードの読み取り等により「国勢調査業務ポータルサイト」に提出状況の登録を行うとともに、市区町村別に仕分けの上、発送する。

(2) 実施期間 令和6年6月10日（月）から7月31日（水）まで（土日・祝日を除く）

(3) 受託業者 株式会社DNPコアライズ（作業拠点：東京都北区）

2 郵送提出状況、受付整理及びQRコード読み取りに係る処理状況

(1) 日別処理件数

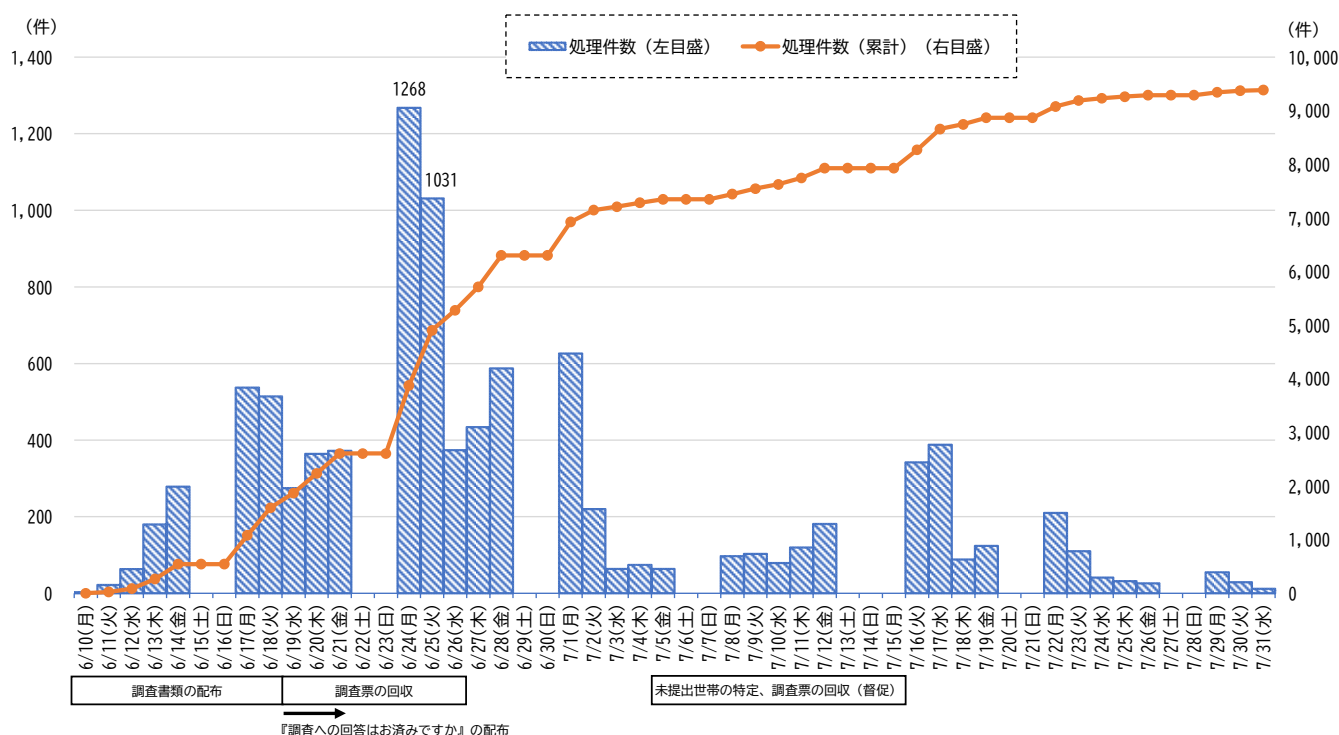
民間サポートにおける『郵送提出用封筒』の受付件数は9,387件※で、このうち、QRコードの読み取り等ができたもの（QRコードが読み取れた封筒や市区町村コード等が手入力できた封筒）は9,381件（受付件数に占める割合99.9%）であった。

※『郵送提出用封筒』の受付件数は、市区における審査前の値であり、一部重複等を含むことから、調査票の集計結果とは一致しない。

処理件数を日別にみると、6月24日（月）及び25日（火）に集中している。また、督促期間（7月5日以降）に、一定数の郵送提出があり、督促の効果が確認できる。

なお、全ての運用日において、受領日当日にQRコードの読み取り及び「国勢調査業務ポータルサイト」への登録が完了している。《図表11》

図表11 郵送提出用封筒の日別処理件数

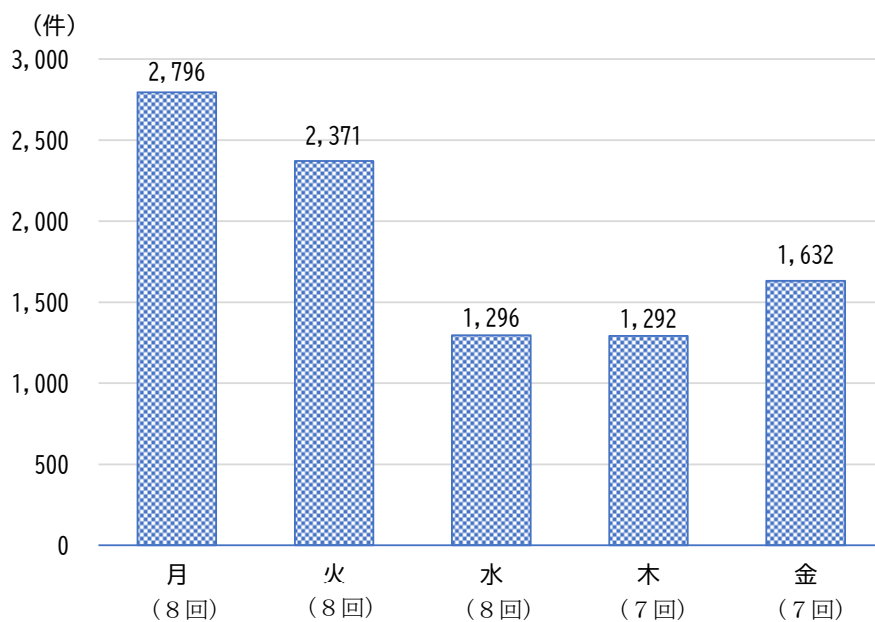


(2) 曜日別処理件数

処理件数を曜日別にみると、月曜日が2,796件と最も多くなっており、次いで火曜日が2,371件となっている。

月曜日及び火曜日が多いのは、土日祝日に受付を行っていないこと、世帯が土日祝日に記入・提出していることが影響していると考えられる。《図表12》

図表 12 郵送提出用封筒の曜日別処理件数



第2 コンタクトセンターにおける調査対象世帯からの照会対応

1 業務の概要

(1) 業務内容

調査対象世帯からの照会に対応するため、「国勢調査コンタクトセンター」を設置し、その業務を民間事業者に委託して実施した。

第3次試験調査においては、従来からの電話による照会対応に加え、世帯の利便性向上等を図ることを目的として、「チャットボット」（チャット形式による自動応答）を導入し、その利用状況や業務プロセスの検証を行った。

(2) 実施期間・時間

令和6年6月8日（土）から7月15日（月）まで（土日祝日を含む）

電話による受付：午前9時から午後9時まで

チャットボット：24時間

(3) 受託業者

トランス・コスモス株式会社（受電拠点：大分県大分市）

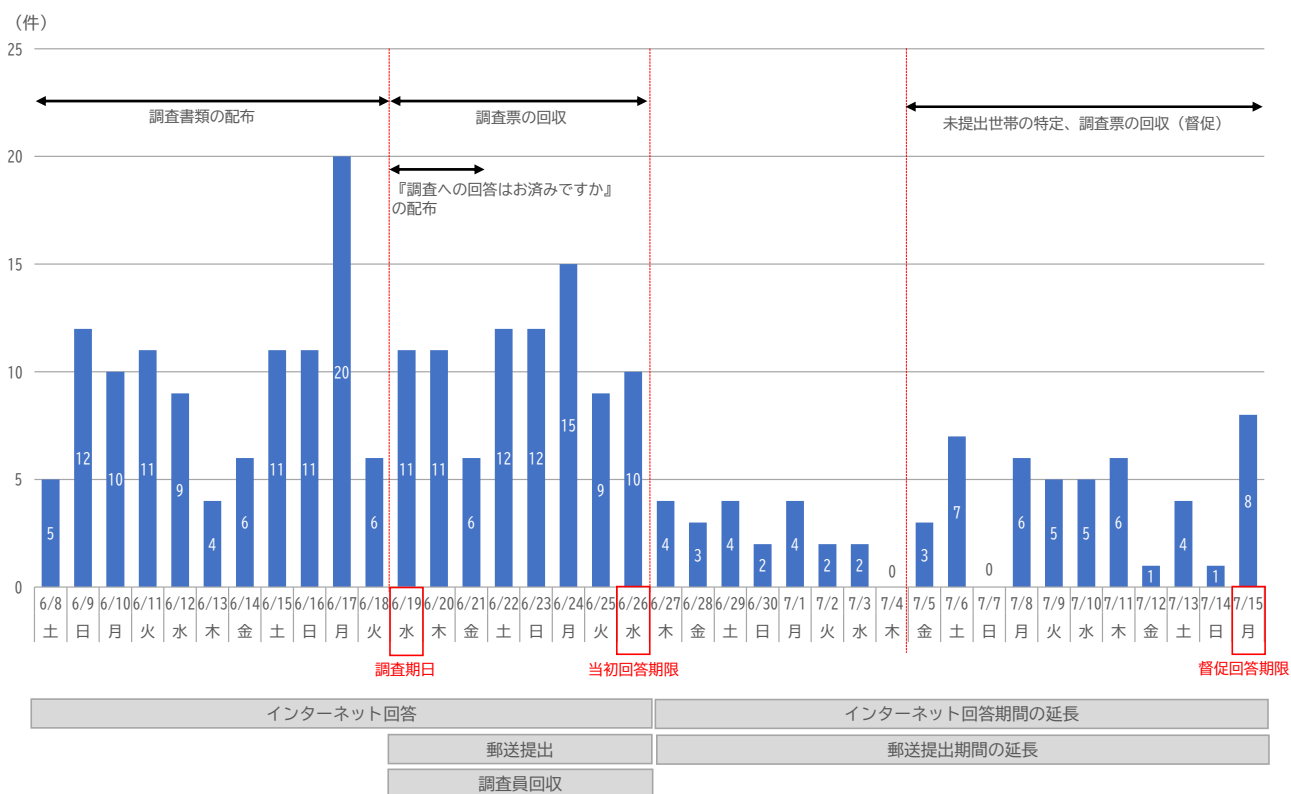
2 電話による照会対応状況

(1) 日別着信件数

実施期間中の総着信件数は258件、うち応答件数は256件（応答率99.2%）であった。

着信件数を日別にみると、6月17日（月）が20件と最も多く、調査書類の配布から当初回答期限までの期間に着信が多くなっている。《図表13》

図表 13 日別着信件数



(2) 主な照会内容別件数及び割合

主な照会内容別の割合をみると、「調査方法」が30.4%と最も高く、次いで「調査票の記入方法」が21.5%、「調査対象・調査の場所」が14.2%などとなっている。

《図表14》

図表14 主な照会内容別件数及び割合

照会内容	実数(件)	構成比(%)
調査方法	92	30.4
調査票の記入方法	65	21.5
調査対象・調査の場所	43	14.2
オンライン調査(操作)	25	8.3
調査概要	12	4.0
回答拒否	8	2.6
提出状況確認	6	2.0
調査員事務	5	1.7
報告義務・罰則	2	0.6
代理回答	2	0.6
その他	43	14.1
合計	303	100.0

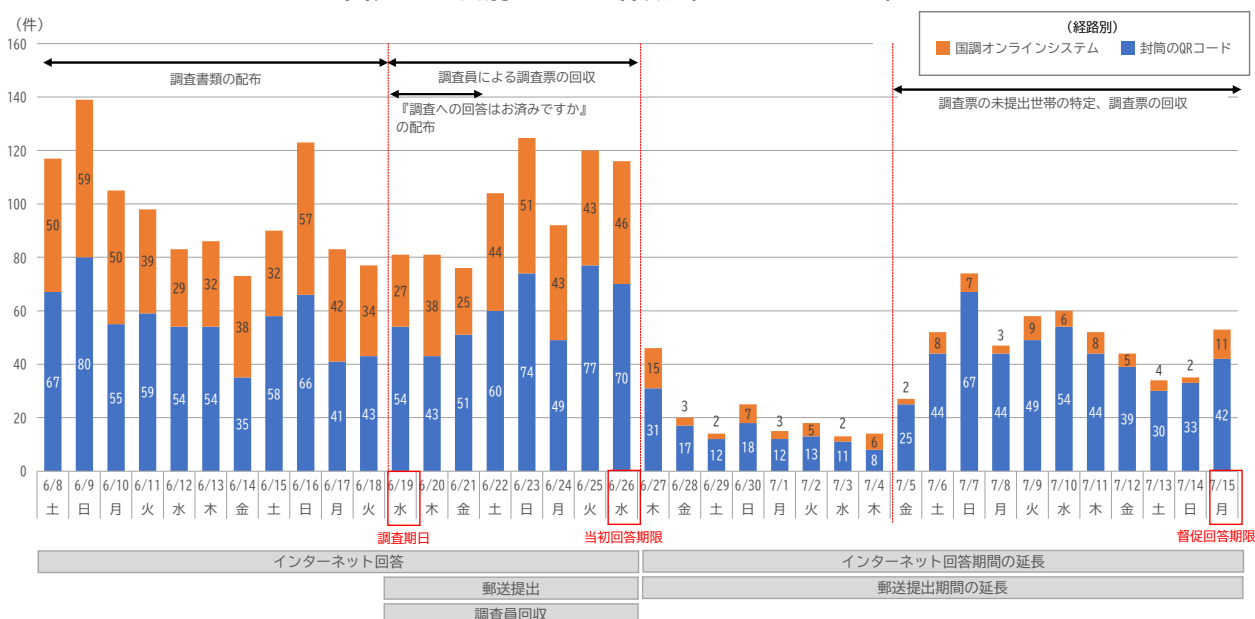
※複数項目の問合せについては、該当する全ての項目をカウントしているため、合計は応答件数と一致しない。

3 チャットボットによる照会対応状況

実施期間中の総アクセス件数は2,570件で、これを経路別にみると、調査書類に印刷されたQRコードを経由したアクセスが1,683件(総アクセス件数に占める割合65.5%)、「国勢調査オンライン」に表示したバナーからのアクセスが887件(同34.5%)となっている。

また、アクセス件数を日別にみると、6月9日(日)が139件と最も多く、電話と同様に調査書類の配布から当初回答期限までの期間にアクセスが多くなっている。《図表15》

図表15 日別アクセス件数(チャットボット)



IV 都道府県及び市区における個別の事務処理の実施状況 (調査状況等記録表の取りまとめ結果)

『調査状況等記録表』は、国勢調査の都道府県及び市町村事務の改善、見直し等を図ることを目的として、都道府県担当職員及び市区担当職員において、試験調査の実施状況等を記録したものである。

1 国勢調査業務ポータルサイトの利用状況

- 「国勢調査業務ポータルサイト」内の「実査管理」機能により回答状況を確認した際、調査員へ行った助言について
 - ・ 調査関係書類の配布開始後、回答数が少ない調査区について、当該調査区の担当調査員に進捗状況等を確認した。
 - ・ 配布誤りが発覚したため、調査員の対応方法を助言した。
- 『回答状況確認表』の伝達方法について
 - ・ 「回答済世帯確認手順書」は、調査員が必要に応じてリアルタイムで回答状況を確認できるため、非常に有効であった。
 - ・ 本調査は調査員数が多いため、『回答状況確認表』をメールで送りたい場合にメールアドレスの取得と登録にかなりの負担がかかる。
- 「国勢調査業務ポータルサイト」についての主な意見・提案
 - ・ トップページで「実査準備」「実査管理」「完了報告」それぞれの進捗が一目で分かるのは使いやすいと感じた。
 - ・ 「調査員・指導員管理」機能は必須の機能ではなく、任意の機能としてほしい。

2 国勢調査コンタクトセンター（主な意見・提案）

- ・ 市町村への問合せが減るのは非常にありがたいため、今後もコンタクトセンターの連絡先を目立つように掲載していただき、可能な限り、世帯からの問合せがコンタクトセンターへ行くようにしてほしい。

3 オンライン回答の推進に向けて実施した取り組み（具体的事例）

- ・ 調査員の方が世帯へ説明を行う際には、可能な限りオンライン回答をお勧めしていただくよう案内を依頼した。
- ・ 調査票の配布に先立って、オンライン回答を押し出した「調査のお知らせ」を全戸に配布した。
- ・ 自治体独自でオンライン回答ブースを設置した。

4 調査書類の配布誤りの状況

調査書類の配布誤りの発生件数は242件となっており、発生理由をみると調査書類の入れ間違いが122件、配布先誤りが114件、その他が6件となっている。

なお、調査書類の配布誤りが生じた場合は、市区において「国勢調査業務ポータルサイト」内の「配布誤り管理」機能を用いて処理を行うこととしており、この機能についての主な意見・提案は以下のとおりである。

- ・該当する世帯の抽出や確認が容易にできたので良かった。
- ・世帯が回答した住所を自動でチェックし、自市内であれば回答された住所の正しい調査区番号まで表示されるため、配布誤りか回答誤りかの最初の判断がしやすかった。
- ・配布誤りがあった場合、ポータルサイトのホーム画面に「配布誤り」のタブと件数が表示され、配布誤りがあったという確認がしやすかった。

5 郵送提出調査票の処理

民間サポート事業者において処理した郵送提出調査票は、市区へ送付された後、受付・整理を行うこととしており、これに要した延べ人時間は1市区当たり4人時間程度であった。

民間サポート業務についての主な意見・提案は以下のとおりである。

- ・令和2年調査では、「国勢調査業務ポータルサイト」への郵送提出状況の登録が遅れ、回答状況確認表を調査員へ送付する際に混乱を招いたため、令和7年調査では改善してほしい。
- ・審査事務の効率化の観点から、「国勢調査業務ポータルサイト」に郵送提出状況が登録できなかったものについて、登録できなかった理由等がリスト化されたものを一緒に送付してもらえるとありがたい。

6 指導員及び調査員からの連絡・照会状況

市区が受けた指導員及び調査員からの照会件数は654件で、主な照会内容は以下のとおりとなっている。

- ・調査書類・用品の追加交付依頼
- ・調査員事務の内容について
- ・居住状況の確認方法等について
- ・未回答世帯の確認（回答状況の照会）
- ・調査拒否世帯の対応方法について

7 世帯からの連絡・照会状況について

世帯から市区に直接照会があった件数は665件となっており、照会内容についてみると、「調査内容に関すること」が195件と最も多く、次いで「調査員に関すること」が110件などとなっている。主な照会内容は以下のとおり。

- ・『インターネット回答依頼書』に記載されている回答期限を過ぎてしまったが回答可能か。

- ・第3次試験調査は本当に国の調査なのか。
- ・第3次試験調査には回答しなければいけないのか。
- ・調査書類を郵便受けに入れておくよう調査員に伝えておいてほしい。

8 調査書類の審査状況（主な意見・提案）

- ・調査票及び調査世帯一覧の「世帯員の数」の男女の欄について、「0」が未記載であった場合に、「0」を追記する作業は省略したい。
- ・審査事務について、作業を行う際のフロー図などがあると分かりやすい。
- ・事業内容の記入欄の不備が多いため、調査票にある程度の選択肢を示すなど、フリー記載の部分を減らすことを検討してほしい。
- ・実際に調査員が聞き取りをすることは難しく、聞き取り調査票はあまり作成されていなかった。市町村が聞き取り調査票の作成や住民基本台帳から補記するなどかなりの業務量だと感じた。

9 調査書類・用品（主な意見・提案）

○ 『調査員のしごと』

- ・全体的に、図やイラストを使用し、色分けもなされているため、調査員が理解しやすかったと思われる。
- ・不在世帯について、居住確認の方法の例を記載してほしい。
- ・調査書類の整理に係る内容のイラストを追加してほしい。

○ 『インターネット回答依頼書』

- ・QRコードの読み取りによるログインであるため、インターネット回答しやすい環境であると感じた。
- ・「インターネット回答がおすすめです」等、平易な表現を全面に用いるとより利用率が向上するのではないか。

○ 『指導員証・調査員証ケース』

- ・ストラップが目立つデザインで、紛失防止になると感じた。
- ・調査員証には顔写真を貼付した上で、調査員氏名をフルネームで記載することとされているが、フルネームの記載を見直してほしい。
- ・ストラップがしっかり結ばれていて、紛失の恐れなく安心できた。

○ その他の調査書類・用品

- ・調査票について、「ボールペン不可」をもっと強調してほしい。
- ・『調査票の提出のお願い』について、「現在インターネット回答期限を延長しております」という文字を少し強調してよいのではないかと感じた。
- ・『調査書類入れ（手提げ袋）』に仕切りを付けてほしい。また、肩掛け部分の長さを調整できるようにしてほしい。

10 指導員事務について

- 調査員事務打合せ会における説明及び指導において難しかった点

- ・『調査員のしごと』や『調査の手引』を用いて説明したが、説明することが多く、説明時間が長くなってしまった。
 - ・初めて調査を担当する調査員が多く、調査員への理解を深めるのが難しかった。
- 調査員から質問や相談があった際に対応が難しかった事例
 - ・居住実態の確認方法や居住実態が不明の場合の対応
 - ・調査に非協力的な世帯への対応
 - ・調査書類の配布誤りへの対応
 - 調査書類の検査事務についての主な意見・提案
 - ・勤め先の名称、事業の内容、本人の仕事の内容は記載漏れや誤りが多く、審査に時間を要した。
 - ・回答状況確認票と郵送回答の調査票が送られてくるタイミングがずれているため、件数の把握や『調査世帯一覧』の修正が大変であった。
 - ・居住確認ができているにもかかわらず、聞き取り調査票が作成されていないケースがとても多かった。

11 調査員事務について

- 郵便受けなどに入れて配布を行った世帯の地域性や住宅の建て方について
 - ・学生などの若い方や単身世帯が多く住んでいる地域は、在宅をしている気配があっても居留守が使われることが多く、結果的にポスティングで配布した世帯が多かった。
 - ・オートロックマンションやアパートなどの共同住宅は、ほとんどが不在世帯であったためポスティングで配布した世帯が多かった。
 - ・一戸建てのみの調査区でも、居留守する世帯や共働きしている世帯が多い調査区は日中に不在にしている世帯が多く、ポスティングで配布していた。
- 郵便受けなどに入れて配布を行った世帯における居住確認の実施方法について
 - ・1日に訪問時間を変えて複数回訪問して、世帯との接触を図った。
 - ・郵便受けの状況、表札の有無、電気メーター、カーテンの有無など住宅の外観から判断した。
 - ・オートロックマンションでは、全住戸のインターホンを鳴らし、エラーになるかで判断した。
- 『調査票の提出のお願い』などの封入方法や配布方法についての主な意見・提案
 - ・「至急」の文字が見える状態で配布するのは効果的と感じた。
 - ・『調査票の提出のお願い』が封筒からはみ出た形で配布すると郵便受けに収まらないことが多々あった。
 - ・『調査票の記入のしかた』も一緒に配布できると良いと感じた。

12 調査全体を通じての主な意見・提案

○ 調査方法について

- ・『調査の回答はお済みですか』の配布と調査票未提出世帯の特定に一定期間設けることにより、行き違いによる督促が更に少なくなった。
- ・集合住宅のセキュリティ対策や共働き世帯増加による日中の不在率の増加等が招く対象世帯との接触の難しさや、訪問に対する拒否感、クレーム件数は前回調査と比べて大幅に増加していると感じた。
- ・郵送回答について、調査期日からではなく、調査書類配布時から回答可能としてほしい。

○ 指導員・調査員事務について

- ・地域性や住宅の建て方などを考慮して、世帯に説明困難と見込まれる場合は、居住確認を行えた時点で配布を可能としたことで、調査員の調査活動が円滑にできた。
- ・インターネット回答が普及し、調査員業務が以前と比べて負担軽減された。
- ・調査員事務打合せ会で指導員が説明するのは負担が大きく難しい。

○ 令和7年国勢調査に向けて

- ・調査を重ねるごとに調査区数が増える中、調査員確保が難しくなり調査員数は減少し続けているため、配布方法や回答方法（回収方法）の見直しや、聞き取り調査の手法の見直しなど、調査員の負担軽減や、少ない人数でも調査実施を可能とする調査手法の見直しを検討してほしい。
- ・国勢調査の目的や実施を国民への理解を促す、事前の大々的な広報も必要である。

V 付表

※付表本体は大部に及ぶため、別途総務省統計局ホームページに掲載する。

I 調査票の提出状況

- 第Ⅰ－１表 市区、回答方法別世帯数
- 第Ⅰ－２表 市区、地域特性、回答方法別世帯数
- 第Ⅰ－３表 市区、住宅の建て方、回答方法別世帯数
- 第Ⅰ－４表 市区、世帯人員規模、回答方法別世帯数
- 第Ⅰ－５表 市区、世帯主の年齢階級（５歳階級）、回答方法別世帯数

II 調査対象の人口・世帯構成

- 第Ⅱ－１表 市区、回答方法別人口
- 第Ⅱ－２表 市区、年齢階級（５歳階級）、男女、国籍別人口
- 第Ⅱ－３表 市区、男女、年齢階級（５歳階級）、労働力状態（８区分）別人口
- 第Ⅱ－４表 市区、地域特性、世帯人員規模、住宅の建て方別世帯数及び世帯人員
- 第Ⅱ－５表 市区、住居の種類別世帯数及び世帯人員

III 調査票（紙）の記入状況

1 世帯項目

- 第Ⅲ－１－１表 市区、調査項目、回答方法、記入状況別世帯数（世帯項目）
- 第Ⅲ－１－２表 市区、住宅の建て方、調査項目、回答方法、記入状況別世帯数（世帯項目）
- 第Ⅲ－１－３表 市区、世帯人員規模、調査項目、回答方法、記入状況別世帯数（世帯項目）
- 第Ⅲ－１－４表 市区、世帯主の年齢階級（５歳階級）、調査項目、回答方法、記入状況別世帯数（世帯項目）

2 世帯員項目

- 第Ⅲ－２－１表 市区、地域特性、調査項目、回答方法、記入状況別世帯人員（世帯員項目）
- 第Ⅲ－２－２表 市区、住宅の建て方、調査項目、回答方法、記入状況別世帯人員（世帯員項目）
- 第Ⅲ－２－３表 市区、世帯人員規模、調査項目、回答方法、記入状況別世帯人員（世帯員項目）
- 第Ⅲ－２－４表 市区、世帯主の年齢階級（５歳階級）、調査項目、回答方法、記入状況別世帯人員（世帯員項目）

IV 電子調査票（オンライン調査）の回答状況

- 第Ⅳ－１表 地域特性、電子調査票の種類、世帯人員規模、回答曜日・時間帯別世帯数

第Ⅳ－２表 地域特性、電子調査票の種類、世帯主の年齢階級（５歳階級）、回答曜日・
時間帯別世帯数

第Ⅳ－３表 電子調査票の種類、調査項目（世帯項目）、回答状況別世帯数

第Ⅳ－４表 電子調査票の種類、調査項目（世帯員項目）、回答状況別世帯人員

Ⅴ 調査票の読み取り、格付の状況

第Ⅴ－１表 地域特性、格付の種類、回答方法、格付の可否別世帯人員

表Ⅴ－２表 住宅の建て方、格付の種類、回答方法、格付の可否別世帯人員

表Ⅴ－３表 世帯人員規模、格付の種類、回答方法、格付の可否別世帯人員